

キャラクター名  
杏条 銀 (いちじょう しろがね)

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン		ワークス	不良高校生	カヴァー	不良高校生
	ノイマン					
オプション			年齢	17	性別	男
覚醒	犠牲	衝動	殺戮	初期侵食率	34	%
出自	権力者の血統	経験	約束	邂逅	腐れ縁	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	0	1	0			1	行動値	8
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	8
精神	6	0	0			6	戦闘移動	13
社会	2	0	0			2	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	7		射撃			RC			交渉	2	
回避			知覚	1		意志	1		調達	11	
運転 :バイク	2		芸術:			知識 :女心	1		情報 :裏社会	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
緋重 (妖刀相当)	白兵	6r+6	4	10		
高速振動ブレード	白兵	6r+6		12		マイナー使用で使用可能
閃	白兵	12r+6	4	10		侵蝕率7
追旋	白兵	6r+7		22		侵蝕率10 マイナー使用後から

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
要人へ貸し	
コネ : UGN	
コネ : 裏社会	

合計装甲 : 0    合計回避 : 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
想い人 (オンリーユー)	P	N		
約束の相手	P 慕情	N 悔悟		
アイヴィ	P 好意	N 不安		
ホワイトクロウ	P	N		
穴倉圭	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 26    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コントロールソート	★	2	メジャー		-	白兵		
効果:	判定を精神に置き換える							
コンセントレイト:ノイマン	2	2	メジャー			シンドローム		
効果:								
抜き打ち	3	3	メジャー			白兵・射撃		
効果:	このエフェクトのドッジのダイス-Lv×2d							
コンバットシステム	5	3	メジャー			白兵		
効果:	ダイス+Lv+1。							
勝利の女神	3	4	オート				100↑	
効果:	判定達成値Lv×3							
インタラプト	1	8	オート	視界	単体		ピュア	
効果:	判定C+1							
マルチウェポン	★	3	メジャー			白兵射撃		
効果:								
究極鑑定	★							
効果:	知っているのか銀!?							
ドクタードリトル	★							
効果:	世界言語で口説ける							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「お、可愛い嬢ちゃん発見。早速お近づきになってきますかね」

軟派な高校三年生。無所属の野良オーヴァード。心春市在住。  
綺麗な女性には滅法弱く、ある程度ならほいほいお願いを聞く。ただし『約束』はしない。  
基本戦闘方法は刀で斬る。のみ。本当にそれしか出来ないの、コードネームがあんな事に。ノイマンなのよね。

元は大物政治家の第一子、早い話がボンボンである。母は元華族で、財力はちょっとシャレにならない。そんな親から貰った洒落にならないお小遣いで現在家出中の親不孝者。

家出の原因は、杏条の持つ刀にある。妖刀『緋重』——何人もの血を吸い、緋を重ねて来た経緯を名に冠する直刃の刀。所謂EXレネゲイドだ。  
蔵に眠っていたこの刀を見つけてしまった一般人の父は、その妖しさに魅入られ、人斬りの欲求を抱いてしまう。  
その折に斬りかかったのが、あろう事か彼の息子であった。  
それを庇うように、たまたま家に来ていた銀の許嫁——少なからず好意を抱いていた少女が、凶刃に身を差し出した。  
着物が赤く染まっていく様、そもそも自分がそうなるはずだった光景への無力感と後悔から、オーヴァードとして目覚めた。  
すぐに父を制圧して刀を奪うも、少女の命は既に消えかけていた。死ぬな、死ぬなと訴える彼に、彼女が遺した約束が一つ。それは楔のように、心に刺さって抜けない。  
その後は人殺しの家にいられないと家出し、今に至る。間違えが繰り返されないよう、憎き刀は持ち出してきた。

そうして今日も、彼は気楽に街へ繰り出す。その胸に、最後の言葉を浮かべながら。

——『きっと、私以外を好きになって、幸せに生きて。』